

7 中学校再編に関する方向性について

下田市総合教育会議では、中学校の規模に関わる諸課題や学校再編アンケートの検証、下田市立4中学校の生徒数推移及び現状などを踏まえ、協議、検討した結果、以下の結論に至りました。

(1) 中学校の統合手法について

方向性 下田市立4中学校を一度に統合する1校化の手法が望ましい。

理由 ① 稲椋中学校と稲生沢中学校を統合したとしても再び単学級の発生が近い将来見込まれるため。

② 国が示す標準規模校（学級数が12学級から18学級）の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身につけさせていくため。

(2) 新中学校候補地について

中学校設置基準、既存4中学校跡地の活用、防災面での安全性及び国の基準を参考に市内全域からの通学を考慮した結果、現在の稲生沢中学校または下田中学校とするのが望ましい。

8 今後の中学校再編に関する検討及び今年度のスケジュール

今後の中学校再編に関する検討は、報告書に以下のとおり記載されており、この記載内容に基づき、更に協議及び検討を進めます。また、今年度のスケジュールについては表2のとおりです。

(1) 下田市総合教育会議では、4校を一度に統合する1校化の手法が望ましいという結論に達しましたが、今後、更なる中学校再編に関する課題の検討等を行うため、保護者、地域住民、学校関係者から成る会議を設置し、具体的課題解決への方策を検討すること。

(2) アンケート分析の結果、中学校再編に関する情報について、保護者等に対し十分に伝達されていない状況が伺えるため、方針を明確に示したうえで、保護者、地域住民等に対する説明会を開催すること。

(3) 今後、人口減少がより進行し、これまで学校を中心に培ってきた教育環境や地域の文化伝統の維持継承が困難となることが予測されるため、中学校と地域とのつながりをより強固とする方策を検討すること。

(4) これまでの下田市総合教育会議の協議内容や検討資料等を別冊として取りまとめたので、それらを元に再編について検討すること。

表2 今年度のスケジュール

関係事項	H28.9	H28.10	H28.11	H28.12	H29.1	H29.2	H29.3	
保護者・学校	広報・概要 版配布周知	説明会開催 (4中学校区)	随時開催					
地域	広報・概要 版配布周知	説明会開催 (6地区)						
中学校再編 検討会議(仮称)		第1回会議 設置・協議		第2回会議 協議		第3回会議 方針等決定		
庁内プロジェクト	検討会議と並行して、随時開催							
教育委員会	経過報告	経過報告	事前協議	経過報告	経過報告	経過報告	事前協議	
総合教育会議			経過報告				方針等確認	
政策会議	随時開催							方針等確認

※今年度末までに取りまとめられる方針等は、平成29年度に入り下田市再編整備審議会を設置し、諮問及び答申を経た後、市として最終決定を行う予定です。

「下田市立中学校再編に係る報告書」は、下田市ホームページに掲載しております。

URL <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

下田市立中学校再編に係る報告書

(概要版)

平成 28 年 9 月 2 日発行

発行：下田市総合教育会議（下田市・下田市教育委員会）

編集：下田市教育委員会学校教育課（下田市四丁目 4 番 16 号）

電話：0558-23-3929 FAX：0558-23-5176

E-Mail：s-kyoui@city.shimoda.shizuoka.jp

1 はじめに

現在の下田市立 4 中学校の生徒数は、昭和 37 年のピーク時に比べ約 5 分の 1 程度に激減しており、宅地開発等の影響を含めた転入や転出などの社会増減を加味しない趨勢（すうせい）による今後の推計（P. 3 表 1 参照）では、さらに減少していくことが見込まれています。

学校が小規模化した場合、「少人数によるきめ細かな指導ができる」「学校行事などで一人ひとりの活躍の場が増える」などのメリットがある一方で、「子どもが幅広いふれあいの中で学び合う機会を持つことが難しくなる」「教職員定数の関係から教科指導の専門性が確保できない」などのデメリットもあります。

下田市総合教育会議では、平成 27 年 3 月 26 日に下田市教育委員会へ提出された下田市立学校等再編整備審議会からの答申内容のうち、中学校再編に関する部分について、学校再編スケジュールや生徒数の推移の検証、アンケート分析などを行い、再度慎重に協議、検討し、報告書を取りまとめました。

2 報告書策定の経緯と概要

下田市総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成 26 年法律第 76 号）により、市長と教育委員会が円滑に意思疎通を図り、教育の課題及び目指す姿を共有しながら、同じ方向性の下、連携して効果的に教育行政を推進していくため、平成 27 年 4 月に市長、教育長、教育委員を構成員として設置されました。

下田市総合教育会議では、平成 27 年 3 月 26 日の下田市立学校等再編整備審議会の答申内容のうち、「稲椋中学校と稲生沢中学校の統合、下田東中学校が単学級となった場合の下田中学校との統合、更に将来において、下田市に中学校は一つとすることを視野に入れて中学校の再編を考えていく」という統合手法について、二つの中学校を統合した数年後に再び一つに統合することへの懸念や少子化がこれまで以上に進行している中、4 校を一度で統合する方法も考えることもできるのではないかという新たな課題について、協議を行いました。

この「段階的統合」か「一度に 1 校化」とするのかという方針を検討する上で、中学校の規模という視点が非常に重要なことからそれらの考察を行い、また、生徒数推移やアンケート分析なども踏まえ、次の理由により、段階を踏まず、4 校を一度に統合する 1 校化の手法が望ましいという結論に至りました。

(1) 稲椋中学校と稲生沢中学校を統合したとしても再び単学級の発生が近い将来見込まれるため。

(2) 国が示す標準規模校の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて

思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせていくため。

また、新中学校候補地については、中学校設置基準（平成 14 年 3 月 29 日文科科学省令第 15 号）、既存 4 中学校跡地の活用、防災面での安全性及び国の基準を参考にしながら市内全域からの通学を考慮し検討した結果、現在の稲生沢中学校または下田中学校とするのが望ましいという結論に至りました。

今後については、本報告書に基づき、保護者、地域住民、学校関係者から成る「下田市立中学校再編検討会議（仮称）」の設置、併せて保護者、地域住民への説明会を開催しながら、更なる中学校再編に関する課題の検討を行い、方針等を決定していきます。

3 これまでの中学校再編に係る経過

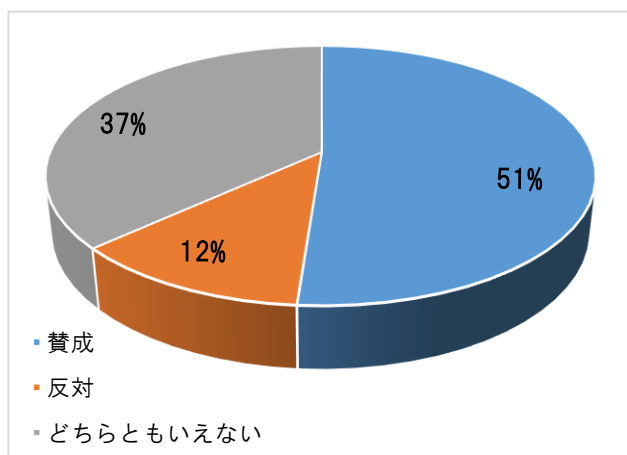
これまでの中学校再編に係る主な事柄の経過については、以下表のとおりです。

年月	事柄	主な内容
H19.12	下田市立小・中学校再編整備について（答申） （下田市立学校再編整備審議会→下田市教育委員会）	・単学級編成の学校において少人数による支障が教育活動に生じてくる場合は、市内4中学校体制を検討し新たな中学校体制を構築する。 ・平成22年4月1日に稲梓中学校と稲生沢中学校を統合し、稲生沢中学校校舎に新中学校を創設する。
H21.5	教育委員会で統合先送りの結論（5月定例会）	・稲梓中学校と稲生沢中学校の統合は、当面先送りする。ただし、保護者・地域からの要望によっては統合に向け前向きに取り組んでいく。 ※当時の保護者や地域住民の方の十分な同意を得ることができなかったため。
H26.12	学校再編整備について（諮問） （下田市教育委員会→下田市立学校再編整備審議会）	・少子化の流れが更に加速し、教育環境を取り巻く状況は変化を続けており、今後の児童生徒数の動向を見据えつつ、平成19年当時の答申を踏まえ、学校教育環境のあり方について、意見を求める。
H27.3	学校再編整備について（答申） （下田市立学校再編整備審議会→下田市教育委員会）	・市内中学校は、近い将来、少人数による教育課題が生じる可能性。将来的には中学校は一つということも、視野に入れて再編を考えていくべきと思われる。 ・現状では、中学校の再編による課題を一つずつ認識し、その第一段階として、稲梓中学校と稲生沢中学校を統合し、現在の稲生沢中学校校舎に新たな中学校を構築すべきである。 ・下田東中学校が単学級となった場合、下田中学校との統合を推進。更には、将来は下田市に中学校は一つということも視野に入れ、中学校再編を考えていく。
H27.10 ～ H28.4	下田市総合教育会議 （平成27年度第2回～平成28年度第1回）	・H27.3答申内容を基本的に尊重しつつ、生徒数推移、アンケート分析などを行い、中学校統合の手法について、再度慎重に協議、検討（P.1参照）。
H28.8	下田市総合教育会議（平成28年度第2回）	・「下田市立中学校再編に係る報告書」「同（別冊）」を策定、中学校再編に関する方向性を示す（P.4参照）。 ①段階を踏まず、4校を一度に統合する1校化の手法が望ましい。 ②新中学校候補地については、中学校設置基準、既存4中学校跡地の活用、防災面での安全性及び国の基準を参考にしながら市内全域からの通学を考慮した結果、現在の稲生沢中学校または下田中学校とするのが望ましい。

4 アンケート結果

図1は平成28年1月に保護者及び教職員を対象に実施した「学校再編アンケート」の「市内4中学校の再編についてどのようにお考えですか。」の回答結果です。

図1 市内4中学校再編について



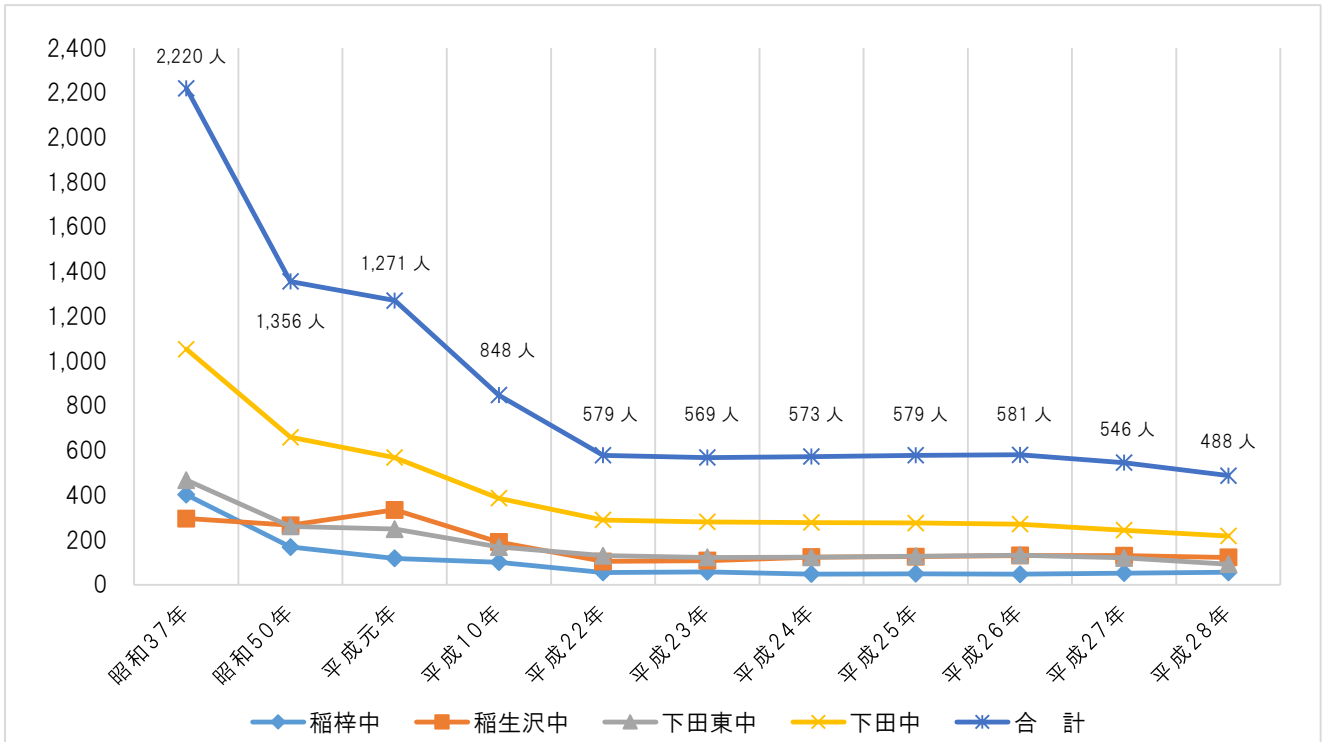
賛成 579 人、反対 136 人、どちらとも言えない 416 人、計 1,131 人（保護者 984 人・教職員 147 人）という結果でした。

「賛成」回答理由としては、「部活動・学校行事の充実」「人間関係の構築」「学習・環境の改善」が挙げられていました。また「反対」回答理由としては、「通学について」「学習・環境の変化」「伝統・地域性」への不安、「どちらとも言えない」回答理由についても「通学について」「学習・環境の変化」「伝統・地域性」についての説明不足が挙げられていました。

5 これまでの生徒数推移

図2は、これまでの市立4中学校別の生徒数推移です。4中学校合計生徒数は、ピーク時の昭和37年では2,220人でしたが、平成28年5月1日現在では488人と約22%まで減少しています。

図2 中学校別生徒数推移



6 中学校生徒数・学級数の将来推計

平成28年4月1日現在の住民基本台帳行政区別・年齢別人口調べを利用した「平成39年度までの想定生徒数」は表1のとおりです（平成28年度のみ平成28年5月1日現在実数）。4中学校合計生徒数はさらに減少し、平成39年度で365人となる見込みです。

なお、学級数については、法律で定められている現行の「1学級40人」での推計を示しております。

表1 平成39年度までの想定生徒数（単学級色付け）

	平成28年度(488人)				平成29年度(462人)				平成30年度(465人)				平成31年度(458人)				平成32年度(443人)				平成33年度(431人)				
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
稲梓	生徒数	19	20	17	56	14	19	23	56	21	14	19	54	13	21	14	48	17	13	21	51	14	17	13	44
	学級数	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
稲生沢	生徒数	36	46	40	122	41	38	51	130	28	41	38	107	24	28	41	93	27	24	28	79	39	27	24	90
	学級数	2	2	2	6	2	1	2	5	1	2	1	4	1	1	2	4	1	1	1	3	1	1	1	3
下田東	生徒数	27	28	37	97	38	28	29	95	30	38	28	96	35	30	38	103	34	35	30	99	32	34	35	101
	学級数	1	1	2	4	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
下田	生徒数	63	59	91	213	61	62	58	181	85	61	62	208	68	85	61	214	61	68	85	214	67	61	68	196
	学級数	2	2	3	7	2	2	2	6	3	2	2	7	2	3	2	7	2	2	3	7	2	2	2	6
		平成34年度(434人)				平成35年度(429人)				平成36年度(420人)				平成37年度(399人)				平成38年度(396人)				平成39年度(365人)			
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
稲梓	生徒数	16	14	17	47	9	16	14	39	15	9	16	40	8	15	9	32	8	8	15	31	6	8	8	22
	学級数	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
稲生沢	生徒数	29	39	27	95	38	29	39	106	28	38	29	95	25	28	38	91	31	25	28	84	22	31	25	78
	学級数	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
下田東	生徒数	36	32	34	102	28	36	32	96	39	28	36	103	25	39	28	92	31	25	39	95	24	31	25	80
	学級数	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
下田	生徒数	62	67	61	190	59	62	67	188	61	59	62	182	64	61	59	184	61	64	61	186	60	61	64	185
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6

